

池田町総合教育会議 議事概要

1 開催日時 令和7年3月7日(金) 16:00~17:10

2 場所 ツドエル2階 洋会議室

3 出席者

杉本 博文(池田町長)

平井 浩一(池田町教育長)

佐飛 正美(教育長職務代理者)

下道 雅治(教育委員)

岸本 英明(教育委員)

南田 哲也(教育委員)

山本 弘紀(教育委員会事務局長代理)

4 開会

5 町長挨拶

本町においても人口減少は差し迫った課題であるが最善を目指していきたい。人口減少に対応するには緩和型と適応型の両方をもってあたらなければならないと考えている。人口減少に適応するための案として教育長より義務教育学校の提案を受け、現在、義務教育学校検討委員会で検討をしていただいている。この会議では義務教育学校検討の取り組みの諸状況を申し上げ、ご議論をいただきたい。

6 教育長挨拶

10年後20年後の池田町の教育を考える上で、ひとつの選択肢となる義務教育学校について検討状況をご報告するとともに、皆さまのご意見をいただきたい。

7 協議事項

(1) 義務教育学校検討委員会 中間報告について

(教育長より説明)

(下道委員)

視察先の義務教育学校で英語に力を入れているとあったが、小学生に英語を教えることは現行実施していないのか。

(教育長)

教育課程上は小学校3年生から英語の授業が始まりますが、池田町では小学1,2年生から週1回程度ですが取りいれています。また、こども園から英語遊びを取り入れて英語に親しむ取り組みをしています。ただ視察先の南砺市の義務教育学校ではもっと大胆に、

小学校1年生から英語授業を増やしています。

(下道委員)

義務教育学校では授業のカリキュラムを私立の一貫校のように自由にできるということか。義務教育学校が推進されているのは人口減少対策としての面からか。

(教育長)

義務教育学校は人口減少対策という部分もあるが、義務教育の在り方がこれでよいのか、というところからスタートしていると思っている。義務教育学校で柔軟なカリキュラム対応が認められているのもそのような理由で、試験的なことが認められているという認識である。大規模校でも教育的な観点から義務教育学校を採用しているところもあるが、現状は小規模なところが8～9割となっている。

(南田委員)

9年間を過ごした生徒がどうなっているかで、メリット・デメリットが見えてくると思うが、視察先の義務教育学校の卒業生の状況などはどのようなか。

(教育長)

余呉小中学校は開校後3年、南砺市は2年目で9年通した卒業生は出ていないのでその辺りの情報はまだない。どちらの学校も大きな括りとして小学校期を前期、中学校期を後期という位置づけがあり、前期後期の間に区切りとして修了式と進級式を行っている。

(南田委員)

中学校の授業を小学校に前倒しすることもできるのか。

(教育長)

カリキュラムの前倒しや、小学校後半から中学校のように50分授業にしているところもある。かなり柔軟に対応できているようだ。

(岸本委員)

学校環境としては校舎が1つの方がいいと思う。また、壁のない教室で交流しやすい中学校の事例もある。

(教育長)

専門家の意見では分離型の校舎になると効果が少ないということである。既存施設を利用するなら小学校か中学校のどちらかに固める形になるのではと思っている。

(岸本委員)

自分たち団塊の世代が退職をむかえると人手不足がさらに加速する。学校を集約し、教職員の数を絞っていくことも大切なのではないかと思う。

(教育長)

今は教員採用試験合格者の辞退が多く、教員の確保も課題となっている。辞退が出ると講師として確保していた人が正規教員となり講師が確保できない悪循環となっている。

(町長)

義務教育学校設置の目的が記載された資料の中で、「学校の現場でも児童・生徒を取り巻く様々な課題が多様化・複雑化している」とあるが、その課題を今一度、整理しなければならないのかもしれない。課題の対応としての義務教育学校の設置というだけでなく、人口減少に対応するための義務教育学校ではなく、新たな池田町の学校を作るという前向きな位置づけにしていくことが必要だと思う。池田町の今の状況を卑下するような姿勢だと保護者や子ども達に後ろ向きな気持ちを抱かせてしまう。子どもにとっても誇りになるような独自性のある新しい学校を作るのだ、という前向きで力強い教育委員会の姿勢を期待しています。

(教育長)

全く新しい独自性を出すためにはアイデアが必要である。

(町長)

一つの例として、島根県海士町では、ここは離島なんですけど、高校を卒業すると子どもたちは島を出て行ってしまいうんですね。そこで町では島の未来には高校の再生が必要だということで、子どもにとっても地域にとっても魅力的な学校を作ろうということで取り組んだわけです。その学校は島の外や県外からも通う生徒が出てきて、今では学校の定員が倍増となったそうです。問題に手当していく、というのではなく、ここで学べば楽しい、大切な事を学ぶにはこの池田町の環境が良い、ということでないといけない。池田町は少人数で切磋琢磨できないと言う意見もあるが、高校を卒業して社会に出れば嫌でも競争に晒される。その前にあるべき姿として、優しく思いやりがあり、大事なことが分かっている、家族や地域を大切にする子であってほしい。

(教育長)

どのようなところに魅力を出すかについては、いろんな事例を見て参考にしたい。

(町長)

もう一つ、自然科学というものは非常に大切だと思っているわけですが、今、池田にしながらカエルの名前を知らない、アマガエルとかトノサマガエルなどの名前を東京の子の方が言える状況は情けないとも感じている。勉強もそこそこできて、たくましい、ちゃんとトンボの名前が言える子。そんな子育てができるところ。夢のあることをやりましょう。

(南田委員)

自分たちはカエルやトンボの名前を言えたが、なぜ今の子どもたちは言えなくなったのだろう。

(町長)

小人数になって先輩後輩の繋がりが弱くなり、遊びを通じた学びが少なくなったのか。

(教育長)

外で遊ぶのは危ないということで、外で遊んでない。友達と遊ぶ時も、親が友達の家まで車で送って行って友達の家の中で遊んでいる。

(南田委員)

自分の子ども時代は放課後に自転車に乗って遠くの集落でもどこでも行ったが。

(下道委員)

義務教育学校設立に向けて令和何年に何をするという具体的な構想はあるのか。

(教育長)

今そこまでの構想は無く、義務教育学校を設置するかどうかの検討をしている段階。

(佐飛委員)

南砺市を見せていただいたが、地域から義務教育学校設立の要望があがって、みんなで作るぞという強い熱意があった。池田町で行うにも教育長や私たちだけに熱意があっても地域がついていけない。地域住民の総意が欲しい。義務教育学校設立は一部の人間だけではできないと感じている。保護者や地域への丁寧な説明で仲間を増やしていきましょう。

(教育長)

南砺市で義務教育学校が進んでいるのは統合しないと地域から学校がなくなるという

状況・危機感があって、地域から教育委員会へ強い要望があったという経緯がある。

(下道委員)

保育所を統合する際にも反対も含めていろいろな意見があったが、幼稚園と統合して。こども園になったのは池田町での先行事例といえないか。同じような形で小中が一緒になるように進めていければいいが。

義務教育学校になった南砺市では学力は上がったのか。

(佐飛委員)

学力をはかるのは中々難しい。英語に力を入れていて、英検の上の級をとる子が増えたとは聞いた。

(教育長)

具体的に学力が上がったという話は聞いてないが、テストで測れるのは認知能力だけで、一緒に過ごす学年の幅が広がるので非認知能力の部分は伸びているのではないかとの予想はある。

(岸本委員)

地域の人を巻き込んで子どもと交流していくのは良いと思う。この間行った町民スポーツ大会でも、中学生も地域の中に出て来て多世代での取組みができ、良かったと思う。

(教育長)

幼稚園から中学生まで一つの校舎で、地域の人を入れる公民館施設機能もある学校がある。そうすると本当に地域一体型のコミュニティースクールであると思う。

(南田委員)

地域の公民館機能が学校にあると運営がややこしくなるというデメリットはあるが、子どもの教育の面では良いことの方が多いと思う。ネガティブな面から入るのではなく、ポジティブな面から自分たちで学校を作れるのは面白いと思う。

(町長)

委員さんにも是非現場を見ていただきたい、視察に行ってくださいと思う。

(教育長)

報告書の文章だけではイメージが湧かないと思うので、一緒に行っていただいてご意見をいただきたい。旧白川村の学校にも個人的に行ったが、白川郷があるのでインバウン

ドで来る外国の方と子ども達が英語で積極的にコミュニケーションをとるような取り組みをしている。

(南田委員)

私立には一貫校が多く、面白いところがあるのではないか。

(教育長)

私立は中・高・大の一貫が多くて、小・中のところは意外に無い。私立一貫校は都会に多いが、もっと探してみようと思う。今回の場で、色々な学校を見てこないといけない、と改めて感じた。

(下道委員)

義務教育学校が、明るく希望が持てるこんなところですよと言えるような知識を持ちたい。

(町長)

今の状況に大人が「どうしようもない。大変だ。」とばかり言っていたら、今いる子ども達に顔向けができないと思う。

(教育長)

教育委員さんも次回はぜひ一緒に視察に行っていたらと。

また、コロナが空けたため、指導主事訪問や学校訪問などもご案内させていただくので、学校の状況も見ていただきたい。